

平成29年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



平成29年12月
海老名市立東柏ヶ谷小学校

目次

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的な生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的な生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成29年4月18日(火)

海老名市の結果は
こちらから



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 前年度と同様に基礎的な漢字の読みはよくできます。
- 設問にある文章の文脈や質問の意図を読み取り答える問題はよくできます。
- 言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことができます。

《努力を要する所》

- 同音異義語の使い分けに課題があります。
- ことわざの意味や俳句の情景をとらえることに課題があります。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、適切な言葉遣いを理解し、適切なものを選択することができます。
- 文章を引用して、主旨を相手に伝えることができます。
- 実体験に即した学習に関しては正答率が高く、自信をもって答えることができます。

《努力を要する所》

- 知識で習得した敬語などの言葉遣いを、自分の言葉として表現することに課題があります。
- 話し手の意図をとらえながら聞き、話の展開に沿って叙述を基に自分の考えを書くことに課題があります。

これまでの取組から

- 今まで通り、学習のめあてや設問の意図を書くということを明確に提示していきます。
- 語彙力を豊かにするために、前年度と同様、授業の中で国語辞典や漢字辞典を活用していきます。

今後の具体的な取組について

- 文章を読んだり、相手の話を聞いて質問したりする機会を増やしていきます。
- 授業の中で同音異義語やことわざにふれたり、学習した漢字を文章に活かしたりする場面を増やしていきます。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 小数のかけ算の計算において、かける数を整数に置き換えて考えるとき、かけ算の性質を理解しています。
- 二つの数の最小公倍数を求めることができます。
- 資料を二つの観点から分類整理し、表にまとめることができます。

《努力を要する所》

- 四則の混合した計算について理解し、正しく計算することに課題があります。
- 高さが等しい平行四辺形と三角形について、底辺と面積の関係を理解することに課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 示された条件を基に、適切な式を立てることができます。
- 示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することができます。

《努力を要する所》

- 言葉や数、式などを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、考えを表現することに課題があります。
- 身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題があります。

これまでの取組から

- 「計算タイム」に取り組み、計算の基礎基本をしっかりと身につけることを大切にしてきました。
- 考える足掛かりや判断基準を示し、立てた式や数値の意味を説明したり、友だちの考えと比較したりする活動を取り入れた授業を進めてきました。

今後の具体的な取組について

- 他教科においても、自分の考えや判断の理由をしっかりと表現できる力を身につけられるよう取り組んでいきます。
- 算数は、低学年からの積み重ねです。今後も、基礎基本をしっかりと身につけ、学習を関連づけて進めていけるよう取り組んでいきます。

児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 「友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか」の質問では、全国平均を上回り、聞く姿勢が身についていることがわかります。
- 「1日にどれくらい勉強していますか」の質問では、自主的に取り組んでいる時間が全国平均を上回っていることから、家庭学習が習慣化していることがわかります。

《課題と思われる所》

- 話し合い活動や発表する場面で自分の考えや意見を伝えることが苦手と感じている児童が多くみられます。
- 「授業で学んだことを他の学習や普段の生活にいかしていますか」の質問では、全国平均を下回っており、学習と生活が結びついていないことが伺えます。

生活について

《よかった所》

- 「学校に行くのが楽しい」と答えた児童が85%以上、「学校で友だちに会うのが楽しい」と答えた児童が95%以上と、多くの児童が学校を楽しんでいることがわかります。
- 「朝食を毎日食べていますか」の質問では、ほとんどの児童が食べていると答え、ご家庭での良い生活習慣が身についていることがわかります。

《課題と思われる所》

- 地域の行事への参加率が46%です。大人のつながりだけでなく、子どもを中心としたつながりをもつことが今後の課題と言えます。
- 「自分には良いところがあると思いますか」の質問では全国平均を下回っており、自己肯定感が低いことがわかります。

今後の具体的な取組について



- 多くの児童が、自分の意見や考えを伝えることに苦手意識をもっています。学習や学校行事などの活動を通して、表現力を育てていきます。
- 読書時間は全国平均を上回っています。語彙力や表現力を身につけるためにも、引き続き朝読書など読書活動の充実を図っていきます。
- 本校の特色でもある地域との連携(CS)を大切にし、学校・家庭・地域がひびきあい、ともに子どもの成長を支えていきます。

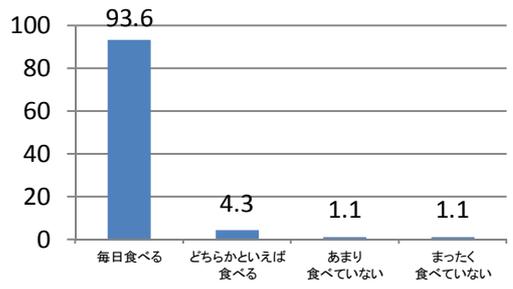
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 毎日、家で朝食をとりましょう。元気のみなもとです。

昨年同様、就寝時間、起床時間を決め、しっかりと朝食をとって学校に登校させてください。

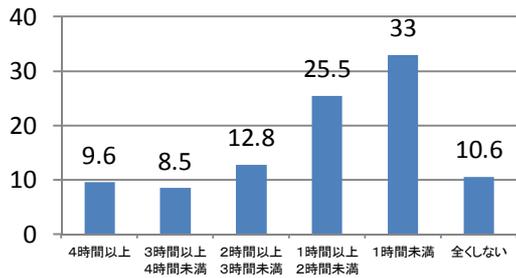
朝食を毎日食べていますか。



2 家庭でルールを決めましょう。

スマートフォンや携帯型ゲーム等、持ち歩くことができるものが増えています。ご家庭でのルールづくりにご協力をお願いします。

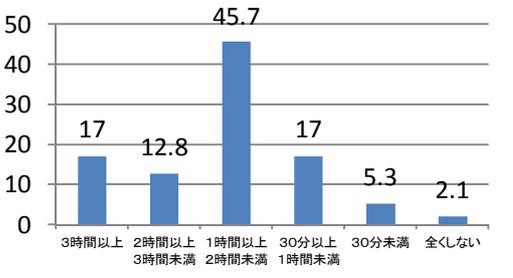
普段1日どれぐらいの時間ゲームをしますか。(スマートフォン等含む)



3 家庭での学習習慣をつけましょう。

学習時間の目安は、10分×学年です。子どもたちに学習の習慣が身につくように見守ってください。

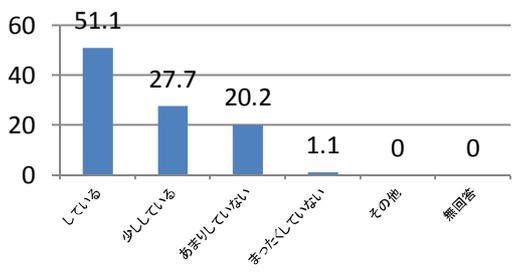
学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれぐらいの時間勉強をしますか。(学習塾等含む)



4 家庭でのコミュニケーションづくりを大切にしましょう。

家庭でのコミュニケーションは必要不可欠です。学校の出来事について話す時間をつくりましょう。

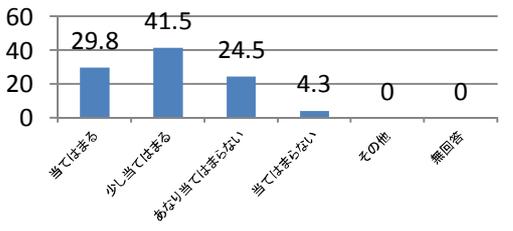
家の人(兄弟・姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか。



5 できるようになったことや、やさしい心が見えたらほめましょう。

自分のよさがわかったり、自信をもったりすることで、様々なことが飛躍的に伸びていきます。

自分には良いところがありますか。



6 住んでいる地域の行事に参加しましょう。

地域の行事に参加する児童が減ってきています。子どもを知ってもらうことで安全も守られます。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。

